

2018（平成30）年度 事業計画

社会福祉法人山鳩会
みどりの森

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するためお互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）中期目標（29年～31年）

地域に根付いた生産活動や、さまざまな自治会行事・活動に参加しながら、認め合い、地域の社会資源としての存在感を発揮できるようになる。

（3）基本方針

①地域の行事に参加しながら、グリーンバンドなどを通して盛り上げる工夫を行なう。また有益な社会資源としての役割を担えるよう努める。

②昨年拡大してきた焼き菓子（自主製品）について、品質の向上や付加価値を高めるよう努めながら販売先との関係を維持できるよう努める。

③地元の畑で地域の人と関わりながら、一連の農作業体験を通していろいろな事を学び、健康な心身を作る。

④継続して通所できるよう、健康の維持・増進と病気の早期発見に努める。

⑤就労している人が継続して働くことができるよう支援していくと共に、これから希望する人に、短時間就労などニーズに応じた職場開拓も行なっていく。

2. 施設概要

- | | |
|---------|------------------------|
| （1）施設種別 | 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型） |
| （2）利用定員 | 31名（現利用者数：34名） |
| （3）開所年月 | 平成21年4月 |

- (4) 施設規模 敷地面積
延床面積 178.86㎡
建物構造 鉄骨造(地上2階1階使用)
賃貸区分 (土地)民間賃貸 (建物)民間賃貸

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名(兼務)
支援員 (常勤職員)	4名
保育士 (常勤職員)	0名
調理員 (常勤職員)	0名
事務員 (非常勤職員)	1名
支援員 (非常勤職員)	7名
保育士 (非常勤職員)	0名
調理員 (非常勤職員)	3名
看護師 (非常勤職員)	0名
理学療法士 (非常勤職員)	0名
作業療法士 (非常勤職員)	0名
合 計	16名

(2) 嘱託

医師 (4回/年)	1名
看護師 (4回/年)	0名
理学療法士 (1回/月)	1名
作業療法士 (2回/月)	0名
合 計	2名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	1名	11名	15名	7名	0名	34名
身障手帳	1名	2名	0名	1名	0名	4名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢 33.9歳)

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
男	0名	10名	4名	8名	0名	0名	22名
女	0名	5名	5名	1名	0名	1名	12名
合計	0名	15名	9名	9名	0名	1名	34名

最低年齢 男…21歳 女…21歳 最高年齢 男…48歳 女…75歳
平均年齢 男…33.8歳 女…34.1歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	清瀬市	杉並区				合計
32名	1名	1名				34名

(4) 障害程度区分

区分	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	2名	6名	6名	4名	0名	16名	34名

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～9:00	朝礼・ウォーキング・ストレッチ
9:00～12:00	作業
12:00～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:30	作業
15:30～15:45	清掃
15:45～16:00	終礼・帰宅

(2) 土曜日

8:30～9:00	朝礼・ストレッチ
9:00～11:20	作業
11:20～11:30	作業片付け
11:30～12:00	昼食・終礼・帰宅

※状況により変更あり

6. 重点目標

(1) 地域の有効な社会資源としての役割を担う。

- ①地域のボランティアを受け入れると共に地域のサークルと連携し、相互に利益のある関係を築く。

- ②地域参加の形として、施設全体でにぎやかに参加し地域の行事を盛り上げながら、グリーンバンドの活用、焼き菓子や野菜販売などを通して地域に有効な事業所となるよう関係を作っていく。
- ③みどりの森便りを適宜発行し、掲示板も活用して情報を発信していく。また法人の広報紙等を用いて法人全体の活動も知って頂けるよう努める。
- ④環境美化に自主的に取り組み、地域貢献する。

(2) 健康・衛生

- ①定期健康診断・歯科検診・感染症予防注射・歯磨き指導・体重血圧測定その他、婦人科検診（乳がん）を行い、病期の早期発見に努めて家庭と情報を共有し、必要に応じて医療につなげる
- ②感染症予防のため、定期的に消毒し衛生環境を整える。また流行する季節には毎朝検温を行ない健康状態を確認するなど拡散防止に努める。
- ③理学療法士ので身体機能の維持向上を図りながら、マッサージや講師を招いての笑いヨガ、ダンスなどリラックスでき楽しめる時間を作る。
- ④作業開始前に個々の状況に合わせて地域周辺をウォーキング、ストレッチして身体を動かす。

(3) 作業・就労活動

① 作業種目

作業種目	内 容
受託事業	DM封入・シール貼り・菓子箱組み立て・紅茶包装・箱折り・畑作業他
清掃事業	中央公園清掃・白十字ホーム除草作業
自主製品事業	焼き菓子製造、販売
回収等事業	古紙・資源・リサイクル品回収
その他	ミニバザー・情報誌配布・出向（梱包）
パート、アルバイト	ライフサポートつばさ、セイコー物流、ハナショウブ他

- ② 焼き菓子の付加価値を上げるよう試み、販売先との関係を維持できるよう努める。
- ③ 農作業について、指導を受けながら収穫量・品質共に安定した生産ができるよう努め、地域に貢献できるようなイベントを実施する。
- ④ 現在就労している人が継続して働き続けられるよう関係機関と連携しフォローしていく。またニーズに応じて外部実習や短時間雇用の開拓・支援を行なう。
- ⑤ 業者との良好な関係を継続し、安定した工賃収入が得られるようにしていく。

(4) 給食

- ① 自治会で利用者本人から出た意見をメニューに反映しながら、選択給食も充実させていく。
- ② 四季を感じながら楽しく美味しく食べられるよう装飾や演出を行う。
- ③ 自分たちで栽培・収穫した野菜を給食に取り入れ、野菜の季節や栄養を理解できるよう説明していく。

④ 栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
					B1	B2	C
					0.5mg	0.6mg	39mg
806Kal	22g	464g	21.5g	268mg			

(5) 自治会活動

利用者が日々感じている事を発信する場を提供し、要望などを具体化するための支援を行なう。また自分の意見が取り上げられるという体験を通し、みどりの森の日課に興味を持ち積極的に過ごす事ができるよう支援していく。

(6) 行事

①クラブ活動（隔月実施） ※週替わりとする

種目	主な活動場所	実施予定日
カラオケ	ビッグエコー	第1金曜日
運動	自治会館・集会所・福祉センター等	第2金曜日
音楽・料理	みどりの森 作業室・食堂	第3金曜日
ボウリング	久米川ボウル	第4金曜日

②年間行事予定

	内 容	
4月	花見会・日帰りバス旅行（保護者参加）	
5月	宿泊旅行（1泊 都心方面）	
6月	諏訪町Tボール大会 しょうぶまつり	グループ別外出
7月		グループ別外出
8月	暑気払い・夏期休暇	グループ別外出
9月	諏訪町運動会・青葉まつり	グループ別外出
10月	白十字フリーマーケット・宿泊旅行（1泊 箱根方面）	
11月	共催運動会（保護者参加）・ふれあいカーニバル・産業祭出店・豊島屋フェス	
12月	クリスマス忘年会・冬期休暇	グループ別外出
1月	成人を祝う会（保護者参加）・施設まつり	グループ別外出
2月	防災館体験・古書まつり（がらくた市）	
3月	納会（保護者参加）	

※グループ別外出（日帰り） 1人1回

7. 防災訓練

(1) 防災

- ①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき月1回防災訓練を実施する他、年に1回防災館でのリアルな防災体験に参加して意識を高める。また災害備蓄食料を使った防災体験も年間計画に盛り込んでいく。
- ②地域の自治会、福祉協力員等関係機関と連携し、非常時に相互支援ができる協力体制をとる。

(2) リスクマネジメント

- ①事故対応マニュアルを施設内に掲示すると共にワゴン車・トラックにも常備し、緊急時に対応できるよう努める。
- ②施設内のリスク軽減のため、安全な環境作りのための整理整頓を実施する。
- ③救急救命講習のほか日常のケガ対応についての講習会を行ない、すべての職員がさまざまな状況に対応できるよう努める。

8. 実習生の受け入れ

- (1) 特別支援学校・在宅者の受け入れを行ない将来の進路選択につながる機会を提供する。
- (2) 大学からの実習を受け入れ、将来福祉の職場で働く人を増やすよう育成に努める。

9. 父母会、親の会との連携

(1) 父母会

- ①保護者会を開いて（月1回）施設に対する理解を深め、協力頂けるよう努める。
- ②個別面談（年1回）や保護者参加の行事を通して、相互に情報交換と交流を図る。
- ③みどりの森便りを月1回発行し、施設での日常の様子を伝えていく。

(2) 親の会

行事部会を中心に、双方の連携を図り、円滑に進めていく。

10. 職員研修

- ①福祉職員として現場で活かせる専門分野の知識や技術を習得すると共に、一社会人として知っておくべき常識やビジネスマナーも習得する。
- ②研修部会を中心にした全体研修会で法人の方針などを確認すると共に、施設間の交流や情報交換を行なう。

11. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議・作業・生活会議	1回/月	定例会議
評価・アセスメント会議	2回/年	アセスメントの見直し、個別支援計画
給食会議	1回/月	メニューの要望、振り返り
ケース会議	3回/月	利用者個々の課題について
自主製品会議	1回/月	自主生産品についての構想、振り返り等

12. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

- ①規定に基づき問題が発生した時は親切丁寧迅速に対応し、問題解決にあたる。
- ②担当窓口及び第三者委員を設置し、丁寧に対応する。

(2) 個人情報保護

規定、個人情報提供同意書に基づき、個人の情報を提供する際は慎重に取り扱い、データの管理を適切且つ安全に取り扱う。

(3) 虐待防止

法人研修部会を中心に取り組み、また担当者を設置して利用者の人権を守り、主体性を尊重した支援を行なう。

(4) セクシャルハラスメント防止

男女一人ずつ担当者を設け、防止・対応にあたる。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ (施設長)	042-395-3210
担当者	大竹 正史 (支援員)	同上
第三者委員	赤木 ふき子 (福祉協力員)	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ (施設長)	042-395-3210
担当者 (男性)	大竹 正史 (支援員)	同上
担当者 (女性)	前森 直美 (支援員)	同上

虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	真崎 ひろみ (施設長)	042-395-3210
担当者	前森 直美 (支援員)	同上